

令和8年度入学者選抜学力検査問題 前期日程

国語 正解・解答例

【現代文】

問一 1 残酷 2 愉快 3 金輪際 4 洗濯 5 変貌

問二 クヌートは、ツキノワグマの言葉が比喻であることを理解できず、言われたことを文字通りの意味で認識してしまったから。(56字)

問三 共通

問四 ア 経験(体験) イ 感情(情念) ウ 想像(推測)

問五 兆し(予兆、前兆なども可)

問六 クヌートは一人称の機能を理解できず、皆が自分のことを「わたし」と呼べば混乱すると考えていた。自分自身でも使用してみたが、他者の言葉に自己が直接向き合わなければならなくなったことを負担に感じていた。しかしながら次第に慣れて、「わたし」という自称を自分の存在の基盤とするようになった。(140字)

【古文】

問一 (A) きちょう・きちやう (B) 愛敬 (C) みす (D) 冠

問二 (X) 心引かれるようすに取りはからって (Y) 役に立たない話

問三 〈二番目〉なぞや 〈三番目〉たださることの

問四 訪問者に対しては、落ち着いていて軽率ではない態度をとり、分け隔てなく親しみを感じさせつつも、自分をわきまえて接することが望ましい。(65字)

【漢文】

問一 a すなはち・すなわち b また

問二 そうじょ・しばしょうじょらをしてるいをもってこれをぶんべつせしむ

問三 帝はいつも司馬相如の詩文創作が巧みであることに感嘆して

問四 自分は速く書いてもそれなりに良い詩文を作れるであろうが、帝は時間をかけても大したものを作れないであろうという皮肉。(57字)